

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宮村 りさ子	B312	risako.miyamura	木曜日 11:00~12:30		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人とその家族への支援について具体的援助方法を学ぶ。精神医療、精神障害者福祉における多職種連携や多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割を知り、実際の支援過程について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;本科目は、精神保健福祉の実践モデルとアプローチなど精神保健福祉士として実践に携わる上で求められる知識や技術について教科書や資料をもとにグループワークやプレゼンテーションを取り入れた授業を行う。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	本科目では精神保健福祉士として不可欠な実践的な知識や技法を修得する。専門用語が分からないままにならないように予習と復習をしてください。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法[精神専門] / 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 / 中央法規出版株式会社				
参考書	教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉分野のソーシャルワークの意義、構造と機能について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(3)(5)	
②	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3) (5)(6)	
③	精神障害および精神保健の課題を持つ人またその家族への支援を理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3) (5)(6)	
④	精神疾患、精神障害の特性を踏まえたソーシャルワークを理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3) (5)(6)	
⑤	精神障害者の家族の課題、家族理解、支援方法について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3) (5)(6)	
⑥	精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3) (5)(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。	同時双方向型授業	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。		4
2	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要①「ソーシャルワークの構成要素」「ソーシャルワークの展開過程」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
3	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要②「精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点」「ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
4	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法①「援助関係の形成技法」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
5	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法②「インテーク」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
6	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法②「インテーク」を演習形式で学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
7	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法③「アセスメント」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
8	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法③「アセスメント」を演習形式で学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
9	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法④「面接技術とその応用」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
10	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法④「面接技術とその応用」を演習形式で学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
11	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法⑤「グループワーク (集団援助技術)」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
12	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法⑥「アウトリーチ」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
13	精神保健福祉分野における家族支援の実際「精神障害者家族の課題」「家族理解の変遷」「家族支援の方法」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
14	コミュニティワーク「精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義」「地域における精神保健福祉の向上」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
15	講義全体の振り返りをする。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
試	定期試験の実施 / 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		60	0	30	0	10	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	5	0	0	55	
	思考・推論・創造する力	10	0	5	0	0	15	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5	
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15	
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～⑥について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～⑥に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。				正答や模範解答を公表する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	第6回の授業時では「インテーク」について、第10回の授業時では「面接技術とその応用」についてグループワークを実施し、グループで考えや意見をまとめて発表する。第8回の授業時では「アセスメント」について個人ワークを実施し、発表する。				次回の授業時に口頭でフィードバックする。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。				次回の授業の初回に、フィードバックする。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他		1) Teams によるリアルタイム双方向型の授業の場合、通信容量が無制限の Wi-fi 環境での受講を推奨。 2) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 3) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。						